

ハードとソフトの連携を踏まえた 社会基盤システム防災技術とその運用

1. 研究の先にある新たな未来とは？

すべての人が与えられた資質と能力を活かし、生き生きと生活し、将来世代のために志と希望を抱いて耕し続ける、豊かで稔りある社会、「豊穰な社会」を目指しています。



2. どんな研究をしている？

- ① 社会を支えるインフラの強靱化や効率的な維持管理
- ② 横浜市を丸ごとシミュレーションし、大地震や高潮が起きたときのリスクを見える化する
- ③ 人と人のつながりを強くし、生き生きと暮らすための研究

3. その研究をしようと思ったきっかけは？

社会活動を支えるインフラが災害に弱かったり、老朽化すると、社会は立ち行かなくなります。元気なインフラが元気な社会を支えると確信しているので、インフラの研究に全力を注ぎます。また、インフラも地域と地域などをつなぐものですが、人と人のつながりこそが本質であると考え、つながり方を研究することにしました。

豊穰な社会のための防災研究拠点

拠点長：細田 暁（都市イノベーション研究院）



詳細はこちら



いいね！を貼ろう